

# ART KISS LETTER



FOR KUMAMOTO ART PEOPLE

Vol.7

2002.1.15



## 熊本市現代美術館 10月12日(土)開館

通町筋と上通に面した「びぶれす熊日会館」の3階をメインに、

21世紀の都市型美術館「熊本市現代美術館」が、

いよいよ本年10月12日(土)に開館いたします。

美術を愛するすべての人に開かれた「ホーム」(家)であり、

いつでも気軽に立ち寄れる美術館。

どうぞ期待ください。

そして、今年もアート・キッスレターを

よろしくおねがいします。

★豆首>次



夢「子守唄」  
(将来の夢)  
板井榮雄  
カンパ カンパ  
ワン エコロン  
ヨネヨネ  
ヨネヨネ  
歌の心は  
パイパイのとき

le22(2001)

将来の夢プロジェクト



## 将来の夢プロジェクト VOL.2

去る12月22日(土)に、熊本市現代美術館イベント第6弾(vol.2)として、「将来の夢プロジェクト」を上通アーケードで開催しました。これはさまざまなジャンルでご活躍の60才以上の人生の達人に、「将来の夢は?」とお尋ねし、自らの手で、大きなキャンパスに描いていただいたその答えを展示するというもので、第2回目として西家の板井榮雄さんに力作を制作していただきました。板井さんのダイナミックな母子像とシニカルなメッセージは見る者を圧倒し、おまけにお捻りまで飛ぶ楽しいひと時となりました。

第3回目は1月26日(土)午後1時から俳人の本田博子さんが公開制作して下さいます。



写真提供:熊本西三郎彫刻会

板井榮雄さんの作品「夢は「子守唄」(上通アーケードにて)





# 世代会

SUITOTTO\*KUMAMOTO

連続インタビュー

NO.6

**板井榮雄**さん **藏本朝美**さん

Hideo Itai

Asami Kuramoto

**芹川光行**さん **山口輝也**さん

Mitsuyuki Serikawa

Teruya Yamaguchi

この連載では、熊本にお住まいで、様々なジャンルで活躍されている方々に、活動に寄せる熱い思いを語っていただきます。第6回日は40回日の展覧会を迎えた世代会の皆さんに楽しいお話を聞きました。

経歴／●板井榮雄さん(1929年生まれ、第14回・19回回日総合美術展日賞受賞、第20回回日総合美術展20周年記念賞受賞、モダンアート協会会員)

●藏本朝美さん(1933年生まれ、第17回回日総合美術展日賞受賞、1999年度日現代美術展優秀賞受賞、サロン・ドートンヌ会員、日本国際美術家協会西日本代表)

●芹川光行さん(1930年生まれ、第17回回日総合美術展日賞受賞、21世紀アート大賞'96展次賞受賞)

●山口輝也さん(1933年生まれ、第26回回日総合美術展日賞受賞、サロン・ドートンヌ会員、NHK熊本文化センター講師)



○左から 芹川光行さん、山口輝也さん、板井榮雄さん、藏本朝美さん

それに、海老原先生が属していた「独立」に出しなさいなんていわないんです。君は「日展」、君は「自由美術」、君はどこそこって具合に、それぞれが伸びる場を指南するんだから。で僕は「モダンアート」。

—皆さんそれぞれの画風についての思いをお聞かせ願えますか。

芹川:僕は海老原に遇っていた頃、病院で働いていたこともあって、とにかく絵を描く時間が限られていたんですね。だから仕事で、構図を考えながら頭の中でデッサンをするような訓練を続けたんです。海老原先生は当時、色面と線と線と線を構築して、そこに強く影響を受けました。しかしこれが本当にむずかしい。けれども、現在の私の制作は画面の中の遊びであり、謎解きを楽しんでいるみたいで、人間に対して、特別深刻でもシニカルでもありません。

板井:僕の興味はやはり「人間」ですね。本当に人間は面白い。僕はずっと抽象を描いていたんですが、ルーヴル美術館で、いかに人間は人間を描き続けてきた存在であるかをつきつけられ、またベトナム戦争を通して、生々しい人間の現実にショックを受けたりして、テーマが次第に人間に絞られてきたんです。それに世代会のなかでも僕の作品はひねくれてるでしょう(笑)。ブラックユーモアっていう人もいるけど、まだまだ人間を描き足りません。

藏本:僕は人がしないことをやろうとしてきたような気がします。人と同じことをしていたら、日本はともかく、フランスでは名前すら覚えてもらえないでしょう。サロン・ドートンヌで「理論的に構築されている」って評されたことがあって、そのときは海老原先生に誉められたようで本当にうれしかったですね。

山口:僕の場合は、具象性が作品に大いに残っているんですよ。まあ、心象風景みたいな感じですね。もともと海老原先生も「抽象も具象も差なんて無いんだ」とおっしゃってましたから、僕らしさはここにあるのかなと思ったりします。今回の展示の見どころは、第1室に飾る4人の新作ですね。昔はけんか腰で批評し合いましたけど、今は絵を見れば分かります。「あ、負けた」とかね。くやしいから言わないけど、心の中でつぶやくんですよ(笑)。

—この40回展に際して、海老原先生にお伝えしたいことがありましたらどうぞ。

一同:先生からいただいた「世代」の精神を、今も大切に守り続けていきたいですね。これは私たちのものではなく、海老原先生からお預かりしている宝なんです。その精神を後に続く方々にも残すことができたらと思っています。

—ありがとうございました。

(12月22日 於:美術館準備室、聞き手:南真宏)

—世代会結成の由来からお話し願えますか。

芹川:これは海老原喜之助先生につけていただいた名前なんです。1955年のことです。海老原美術研究所に所属し、日展総合美術展を中心に出品していた6人が集まり、勉強会を始めたんです。名前も「時代」とか「異風者」とか(笑)いろいろ候補に挙がったんですけどね。最終的に海老原先生が命名してくださったんです。お互いに離はとりませんでしたけど、気持ちはあの日のままのつもりです。

—47年目を迎えたということになりますね。とかく大師所に教えを請うと作風が似てしまうものですが、世代会はそれぞれ独自の画風を築き上げています。なかそこに、海老原さんの教え方というものを感ずるのですが。

山口:海老原先生はそれぞれの性格を見抜いて指導されました。人間を見抜くんですね。技術ではなく考え方。世界のとらえ方を独特の言い回しでいうんです。絵を持ってきた者に個人指導されるのですが、その一言一言も横で聞いている一人一人に響くんですね。何より先生が強調されていたのは「描写」ではなく、「表現」に重点を置けということでした。世代会のメンバーに共通点があるとすれば、そういう芸術観かもしれないですね。海老原先生はそう大きな方ではありませんでしたが情熱的な方でね、本当に賞賛ありましたよ。今でも先生の一言一言が心の中で生きていて、横に先生が立っておられるような気がするんです。

藏本:僕は海老原先生に「良い線を引くね」ってほめられた事があって、それだけなら良かったんですけど、「良い線を引きながら、洋服屋になれ」ってバタンナーの就職先まで強引に世話してくれたんですよ(笑)。もちろん、断りましたけどね。爽快でありながら、実にこまやかな気配りの人でもありました。

板井:岡本太郎が果敢したとき、「太郎、太郎」と呼び出すにしろものだから、岡本太郎がむくれちゃったりして、本当にすごい人でした。

## 編集後記

いよいよ熊本市現代美術館の開館の年を迎えました。開館日は10月12日(土)。私たちは専門的であることと大衆的であることを同時に成立させるために、開館までも、そしてそれ以後も、果敢に挑戦し、行動していきたいと思っています。そして有名無名、そのキャリア、ジャンルにかかわらず、優れた才能をすくい上げていく所存です。どうか今後とも、忌憚のないご批評、ご意見、ご要望をお寄せください。本年もよろしくお願いたします。

(学芸課長 南真宏)

### ■イベント第9弾のお知らせ

2月14日(木)午後6時30分より、市民会館大会議室におきまして、文化講演会とパネル・ディスカッション「松本義三郎と生人形をめぐって」を開催いたします。講師は小林淳一氏(江戸東京博物館学芸員)。入場無料ですが、往復はがきによる予約が必要です。美術館準備室宛にその旨をお書きの上、お申し込みください。(2月7日必着、定員300名)

### 寄稿者紹介

#### 兼城 昌山 (S.K)

Shozan Kaneshiro

全国の馬どし書作家100人展(1/9~1/14・札幌・松坂屋)に「山瀬穿石」を出品。第44回東京書道会展(1/23~1/29・東京美術館)に評議員として「戦」を出品。

#### 森山 淡草 (T.M)

Tanso Moriyama

「新春を寿(ことほ)ぎ奉(まつ)る。」と素直な気持ちでは淡草し舞い舞。『家中 日月長し』で、せめて己の心中に燃然たる自分の世界を築きたいもの。

#### 田代 晃三 (K.T)

Kozo Tashiro

自分はただ自然や先人に教えてもらって描くことができる。時代を切り開く人はずい。

### 学芸員紹介

#### 本田 代志子 (R.H)

新年はギャラリーでいろいろな方から興味深い話をうかがうことができました。今年もどうぞよろしくお願いたします。

#### 坂本 顕子 (S.S)

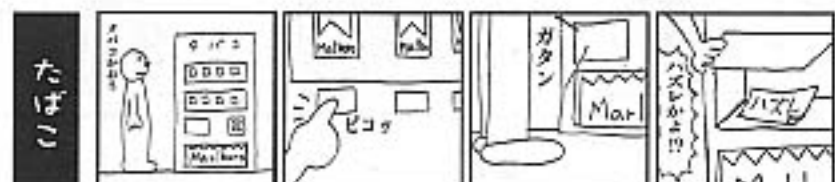
素敵な作品とおいしい咖啡を求めて今年も宜しくお願いします!

#### 金澤 韻 (K.S)

今年もすてきな作品に機会をあることを楽しみにしております。

#### 富澤 治子 (R.T)

作品制作にはげむ皆さんの勢いに負けないように、今年もがんばります。



イラストレーション:岡本デザイン専門学校、グラフィックデザイン科2年 川口 みゆき